

Appointment and Web-based Communication Division

2021年5月

春号

—Vol.43—

理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し
質の高い医療を提供します

基本方針

- 1.患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります
- 2.急性期医療を中心に診療を進めます
- 3.救急医療の充実に努めます
- 4.地域の医療機関等との連携を推進します
- 5.国内外の災害時の医療救護活動に貢献します
- 6.職員の教育、研修を充実させます
- 7.健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

私たちは患者さまの権利を尊重します

適切に医療を
受ける権利

医療に関して
知る権利

医療行為を
自分で選ぶ権利

プライバシーを
保障される権利

人権を尊重
される権利

セカンド
オピニオンを
受ける権利

旭川赤十字病院職員行動規範 5つの約束

- 1.私たちは、来院される方と職員に笑顔であいさつをします
- 2.私たちは、初対面の患者さまに、自己紹介をします
- 3.私たちは、電話の最初に、部署と名前を名乗ります
- 4.私たちは、患者さまに診察や説明をしたあとに「何かわからないことやご質問はありませんか?」とお尋ねします
- 5.私たちは、院内で迷われている皆様にお声掛けをし、ご案内します

編集後記

新型コロナウイルス感染症により皆さまも落ち着かない日々をお過ごしのことと思います。今年もコロナ禍でのGWとなり安心して外出することが難しい状況でした。北海道内でも変異株が確認されており、今まで以上に感染防止対策の徹底が必要となっています。当院では新型コロナウイルス感染防止のため、対策の一つとして会議室を開放して食事スペースを設ける取り組みを行っています。引き続き患者さまが安心して医療を受けられる環境の整備を心がけてまいります。

発行

旭川赤十字病院 地域医療連携室

〒070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目1番1号

tel.(0166)22-8111(代表) fax.(0166)22-8287(直通)

URL <https://www.asahikawa.jrc.or.jp/> Email renkei@asahikawa.jrc.or.jp

連携室
だより

定年退職のご挨拶
～今後の診療体制について～

新任部長挨拶

新任医師のご紹介

臨床研修医のご紹介

人事消息





定年退職のご挨拶 ～今後の診療体制について～

旭川赤十字病院 参与 長谷部 千登美

連携医療機関の皆様、このたびは、この紙面をお借りして定年退職のご挨拶と、今後の診療体制のご紹介をさせていただきます。

私は、2010年10月から消化器内科部長として当院に赴任し、10年半となりました。消化器内科の中でも特に肝臓疾患を専門とした診療を続けてまいりましたが、各連携医療機関の先生方には、たくさんの貴重な症例をご紹介いただき、大変勉強させていただきましたことを、心から感謝申し上げます。おかげさまで全国赤十字病院肝疾患研究グループにも参画させていただき、慢性肝炎や肝硬変・肝癌の診断・治療に関する各種の臨床研究に参加することができました。当院での臨床症例もこの研究グループにおける全国データの一部として活用され、貴重な論文として発表されて、肝疾患治療指針を作成する一助となっていることをご理解いただければ幸いです。この間に治療しえたC型慢性肝疾患症例は350例ほどに及び、新しい治療薬開発の恩恵を受けて、99%以上の症例が完全治癒を達成しております。残る大きな課題は肝硬変や肝細胞癌の予防・治療ということになりますが、近年の各種治療薬開発により徐々に治療効果に手ごたえが得られるようになり、今後ますます適切な専門的治療を継続していく必要性を実感しているところです。

このように多くの症例に関して外来フォローを継続してきましたので、定年退職に伴って外来診療をすっかり止めてしまうと、患者さんにも病院にもご迷惑をかけてしまうことになるのではないかと懸念されました。自分自身も、仕事からすっかり退いた生活など、全く想像できない気がしておりました。そこで当分はこれまでどおりの診療を継続させていただきたいと院長にお願いして、参与という身分として従来通りの勤務を継続する方針にいただきました。

そのような訳で、現在もフルタイム勤務を続け、今年度予定されている病院機能評価受審準備をすすめながら、火曜日・木曜日の外来診療をこれまで通り行っております。今後も消化器内科、特に肝疾患診療に関してできる限り貢献できるよう精進していきたいと考えております。

連携医療機関の先生方には、これまで大変お世話になってきたことに対して深謝申し上げますと同時に、今後も変わらずご指導・ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。



救急科 部長 大友 元

このたび、旭川赤十字病院で救急科部長を拝命しました大友です。

私自身、ベースは内科医です。

旭川医科大学を卒業後、初期研修は茅ヶ崎徳洲会病院でお世話になりました。ワークライフバランスなど関係なく、朝から晩まで病棟・救急外来で診療を強いられ、とても長く感じた研修でした。こういった研修の是非はともかく、この研修の経験が今の私を支えてくれていると思っています。

後期研修は長野県の諏訪中央病院で内科ローテーション研修を受けました。「ゆりかごから墓場まで」を標榜しており、救急外来から往診看取りまで、地域密着の経験を積ませていただきました。その後北海道に戻り、手稲溪仁会でのER短期研修を経て、内科総撤退後の江別市立病院の内科立ち上げに参加させていただきました。少数の専門医を支えながら一般内科医が内科全体を支えるスタイルで、どこまでが自分たちで診ることができる

のか、どの時点でhigh volume centerに送るのか、を考えさせることが多い仕事でした。そして摩周厚生病院・広域紋別病院での内科を経て、当院の救急科に2014年に赴任しております。

もともと僻地を含めた地域で役に立てることを目指してきたこともあり、specialistというよりgeneralistを意識して仕事をしてきました。地方に身を置いてgeneralistとして仕事をすることは大事と今も思っています。加えて地方をバックアップすることを意識して、中核病院でgeneralistとして仕事をすることも必要かも、と考えるようになってきました。

このような経緯で旭川赤十字病院で縁あってお世話になっております。

ご存じのように救急科は、各部署の協力でなりたっている部門です。ありがたいことに各科の医師・院内の様々な職種の方々が、道北管内で当院が最後の砦という気概を持ってくださっております。こういった方々に支えられ、職務を全うしたいと考えております。

以上簡単ですが新任の挨拶とさせていただきます。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



脳神経外科 第二部長 和田 始

お世話になっております。旭川赤十字病院脳神経外科の和田始です。

昨年未まで、旭川医科大学病院脳神経外科及び脳卒中センターに勤務しておりました。縁あって、今年から旭川赤十字病院で脳血管治療を主な治療手段とする脳卒中診療を担当させていただいております。以前、1998年からの2年間この職場に在籍し、日本屈指の脳卒中症例数と開頭外科手術を経験させていただきました。そのころはまだ脳血管内治療は日本に導入されたばかりで、ほとんど誰も行っていない時代でした。当時の脳神経外科部長であった上山博康先生から「これからの脳卒中診療に、絶対必要になるから勉強してきなさい」と助言をいただきました。それをきっかけに大学、東京、フランスで最先端の脳血管治療を学ぶ機会をいただき、今日に至っております。

2015年に脳梗塞急性期の脳血管内治療による血栓除去術

のエビデンスが発表されました。その後この治療法がガイドライン化され、救急体制の再考を経て法制化される一大革命と思われるような変化が起きました。

現在は医療を取り巻く環境そのものが目まぐるしく変化してきています。人口動態の変化、医療経済、専門医制度、働き方改革、そして未曾有の新型コロナウイルス感染症。抗がん剤治療の進歩や内視鏡やロボットを用いた治療。interventionを用いた脳卒中診療の変化もこれらと同様、当然の流れかもしれません。

一方で脳血管障害に関してはバイパス手術に代表される、より高度な開頭技術がエビデンスとして証明され、要求される時代でもあります。当院ではこれまでの診療姿勢に加え、より多彩で高度な診療技術を用いて、地域の脳卒中診療の中核を担う責任を果たしていきたいと思っています。

旭川は日本の北に位置し極寒の地ではありますが、暖かい人の住む地域の医療を周辺の施設や先生方と情報を共有しながら、旭川赤十字病院ではチーム一丸となって診療にあたる所存です。今後ともよろしくお願いいたします。



循環器内科 部長 飛澤 利之

この度、令和3年4月1日より循環器内科部長を拝命いたしました、循環器内科の飛澤 利之と申します。

私はこれまで、札幌医科大学付属病院、札幌医科大学大学院、また、道内関連病院勤務を経て、令和元年に当院へ赴任させていただきました。

昨今の高齢化社会を反映し、心不全パンデミックと称されるように心不全をはじめとした循環器領域疾患患者数は年々増加の一途をたどっており、我々循環器内科医の守備範囲は日々広がっております。

このような中で、当科では心不全を中心とした様々な疾患に対する薬物療法、非薬物療法(カテーテルインターベンション等)に加え、心不全管理において重要な心臓リハビリテーションにも力を入れております。

このコロナ禍の影響で現状はなかなか進んでおりません

が、院内の設備・環境を徐々に整え、今後は入院のみならず外来リハビリテーションも充実させていく予定ですので、ますます近隣の医療機関の先生方と密に連携を取らせていただき、地域の基幹病院としてお役立てできればと考えております。

また、当院は道北ドクターヘリ事業を運用する3次救急を担う高度救命救急センターを併設しております。よって、急性冠症候群に対するprimary PCIをはじめとした、循環器救急への対応も重要な責務と考えております。

まだまだ若輩者で経験も浅く、ご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、旭川市のみならず上川管内の地域医療に少しでも貢献し、かつ地域住民の皆様信頼される医療機関となれるよう頑張りますので、今後とも宜しく申し上げます。

新任医師のご紹介



救急科 川田 大輔 (カワタ ダイスケ)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／旭川医科大学

地域のために力を尽します。よろしくお願いいたします。



糖尿病・内分泌内科 佐々木 大河 (ササキ タイガ)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ゲーム、漫画、映画

まだ未熟な点も多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、宜しくお願い申し上げます。



腎臓内科 松元 慈 (マツモト メグミ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／カメラ

まだまだ学ぶことが多い日々ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科 川原田 航 (カワハラタ ワタル)

- 出身地／苫小牧市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／旅行

精一杯努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



消化器内科 臺 一樹 (ダイ カズキ)

- 出身地／十勝 清水町
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／スノーボード、写真

患者さんの苦痛に寄り添えるような医師であれるよう、フットワークは軽く、明るく元気に精一杯頑張ります。若輩者ではありますが、みなさまのお役に立てる様尽力させていただきます。よろしくお願いいたします。



消化器内科 後藤 聖樹 (ゴトウ マサキ)

- 出身地／大阪市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ギター、ベース、ゲーム、スノボ

医学部卒業後はここ旭川赤十字病院で2年間研修医として学ばせていただきました。その間に先生方、コメディカルの方々には大変お世話になりました。まだまだ未熟ですが、皆様からの学びを生かして、精一杯頑張ろうと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。



脳神経内科 山田 一貴 (ヤマダ カズキ)

- 出身地／江別市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／野球

至らないこともあるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。



糖尿病・内分泌内科 宿田 夕季 (シュクダ ユウキ)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ピアノ、マラソン

若手らしく前向きに、かつ親身に診療できればと思います。宜しくお願いいたします。



腎臓内科 宮森 大輔 (ミヤモリ ダイスケ)

- 出身地／帯広市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／宝くじ

腎臓内科医として、精一杯力を尽します。何卒宜しくお願いします。



循環器内科 印鑰 雅史 (インヤク マサフミ)

- 出身地／富良野市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／音楽鑑賞

お困りの症例がいっぱいありましたらいつでもご紹介お待ちしております。よろしくお願いいたします。



消化器内科 桃井 環 (モモイ タマキ)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／札幌医科大学

少しでもお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



消化器内科 久保田 寛之 (クボタ ヒロユキ)

- 出身地／函館市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ゲーム

一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経内科 野村 太一 (ノムラ タイチ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／スキー

慣れないことが多くご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、お役に立てるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。



脳神経内科 大島 祐貴 (オオシマ ユウキ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／映画鑑賞、ゴルフ

患者さんの転院など、先生方には大変お世話になります。何卒宜しくお願いいたします。



外科 板垣 有紀 (イタガキ ユウキ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／犬の散歩

精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



整形外科 田中 雅仁 (タナカ マサヒト)

- 出身地／釧路市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／サッカー

四肢外傷を専門にしています。よろしくお願いいたします。



泌尿器科 田端 秀敏 (タバタ ヒデトシ)

- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／サイクリング

15年ぶりに旭川に戻ってきました。泌尿器科疾患全般に関して、対応いたします。宜しくお願いいたします。



泌尿器科 中島 佑輔 (ナカジマ ユウスケ)

- 出身地／稚内市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／スポーツ観戦、散歩

いろいろにご迷惑をおかけすることがあるかと思いますがよろしくお願いいたします。



麻酔科 根符 勇二 (ネップ ユウジ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ドライブ

何かとお世話になることも多いかと思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



麻酔科 坂本 侑子 (サカモト ユウコ)

- 出身地／函館市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／旅行

未熟な点も多くご迷惑おかけすることも多々あるかと思いますが、精一杯努めますのでどうぞよろしくお願いいたします。



整形外科 村住 拓哉 (ムラズミ タクヤ)

- 出身地／小樽市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ゴルフ

精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

(令和3年3月1日付採用)



外科 高橋 徹 (タカハシ トオル)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／スキー、ダイビング、ジョギング

食道・胃外科領域を専門に前任地ではロボット支援下手術に携わっておりました。当院でも早期導入に向けて尽力して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科 水谷 幸三郎 (ミズタニ コウザブロウ)

- 出身地／十勝 本別町
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／筋トレ

いろいろとお世話になると思いますのでよろしくお願いいたします。



泌尿器科 諸岡 大地 (モロオカ ダイチ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／サッカー、フットサル

全力で診療にあたりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科 近藤 麻美子 (コンドウ マミコ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学

未熟な面が多々ありご迷惑をおかけするかと思いますが、精一杯頑張りますので何卒宜しくお願いいたします。



麻酔科 佐々木 大輔 (ササキ ダイスケ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／スポーツ観戦

精一杯取り組みます。よろしくお願いいたします。



救急科 櫻井 圭祐 (サクライ ケイスケ)

- 出身地／愛知県
- 出身大学／信州大学
- 趣味／筋トレ

道北の救急医療に尽力いたします。



歯科口腔外科 庭瀬 俊 (ニワセ シュン)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／北海道医療大学
- 趣味／映画鑑賞

一所懸命精進して参りますので、何卒宜しくお願いいたします。

(令和3年5月1日付採用)